



# 子育て通信 66号

札幌市中央区大通西 27 丁目 1-1 円山バスターミナル 2F  
てんてん 011-676-3387 / 受付問合せ 090-3117-2294  
kazaguruma@oasis.ocn.ne.jp  
発行責任者 代表理事 山田智子 【2026.3.18 発行】









弥生 3 月、出会いと別れの季節になりました。復職や転勤、入園、入学等でお忙しくされている家庭も多いと思います。そんな時こそ時々深呼吸しながら 1 日 1 日の生活を大切にできたらよいですね。新しい生活が少しずつ少しずつ落ち着くまで、みなさん、どうぞご自愛ください♥

日本では、「子どもの権利」「子どもまんなか社会」という言葉がよく聞かれるようになりましたが、世界に目を向ければ、戦火の中で当たり前前の生活が脅かされている子どもたちもいることが心苦しいです。乳幼児期からの物の取り合いなどの経験で、社会性や交渉力、コミュニケーション力を培われると言われますが、最終的には世界平和にもつながるような気がしています。小さい子ども時代から世の中には自分と違う多様な考え方や文化があることに気づき、十分に自己主張をしながらもその後はお互いに折り合いをつけて、みんなが安心して平和に暮らしていけるにはどうしたらよいのか？を一緒に考えていく素地を身につけられたらよいのではと改めて思いました。きょうだい数が少ない現代だからこそ、子育てひろばなどでおとなが先回りせずに子ども同士のやり取りを十分にさせてあげられたらいいですね。

### 【保育・サポート料値上げのお知らせ】

4 月から新年度を迎えるにあたり、かざぐるまの保育・サポートを利用いただいているみなさんにお知らせがあります。かざぐるまは、札幌市の地域子育て支援拠点事業ひろば型の指定を受けて運営している「子育て拠点てんてん」の子育てひろば、札幌大谷大学から業務委託を受けて協力している子育て支援センター「んぐまーま」のつどいの広場以外の事業は、すべて自主事業であり、受益者のみなさんに負担していただいている利用料のみで運営しています。

昨今の物価高と交通費の値上がり、そして最低賃金の毎年の度重なる値上がりを受け、かざぐるまの経営は今、とても厳しい状況に置かれています。物価高は各家庭の家計にも大きく影響していると思うので大変恐縮ですが、理事会や税理士などと検討した結果、保育やサポートの利用料を上げさせていただくよりないという苦渋の決断に至りました。

つきましては、2026 年 4 月 1 日より下記料金とさせていただきます。ご了承いただけますと幸いです。

保育・サポート料金表	【2026/3/31 迄 1 時間料金】 * 利用は 2 時間以上			【2026/4/1 以降 1 時間料金】 * 利用は 2 時間以上		
	平日 9:30-17	平日時間外 土日祝 9:30-17	土日祝時間外	平日 9:30-17	平日時間外 土日祝 9:30-17	土日祝時間外
預かり保育(子育て拠点てんてん)	子 1 人 1,600 円 子 2 人 2,100 円	子 1 人 1,800 円 子 2 人 2,300 円	子 1 人 2,000 円 子 2 人 2,500 円	子 1 人 1,800 円 子 2 人 2,500 円	子 1 人 2,000 円 子 2 人 2,700 円	子 1 人 2,200 円 子 2 人 2,900 円
訪問保育(ご自宅) + 交通費実費	子 1 人 1,600 円 子 2 人 2,100 円	子 1 人 1,800 円 子 2 人 2,300 円	子 1 人 2,000 円 子 2 人 2,500 円	子 1 人 1,800 円 子 2 人 2,500 円	子 1 人 2,000 円 子 2 人 2,700 円	子 1 人 2,200 円 子 2 人 2,900 円
産前産後サポート + 交通費実費	1,600 円	1,800 円	2,000 円	2,000 円	2,200 円	2,400 円
グループ保育 + 交通費 1,000 円	保育者 1 人 2,200 円	保育者 1 人 2,400 円	保育者 1 人 2,600 円	保育者 1 人 2,700 円	保育者 1 人 2,900 円	保育者 1 人 3,100 円
トコトくらぶ	登録料 2,000 円 1 か月 11,000 円×12 か月			登録料 3,000 円 1 か月 13,000 円×12 か月		

今年は何年団体設立 40 周年、NPO 法人となって 21 周年となります。全国でも屈指の老舗の子育て支援団体ではありますが、秋元市長に提言している「地域子育て支援拠点を核とした官民協働の多機能型子育て支援」の実現はまだ遠く、財政的に厳しい状況は今後も続くと思われまます。スタッフ一同、地域の親子のため、また日本社会の子育てを豊かにしていくため、一つひとつの活動を丁寧になお一層の充実を目指してまいりますので、これからもよろしくお願ひいたします。

**子ども・子育ての近考 川田 学(北海道大学子ども発達臨床研究センター教授、かざぐるま理事)**

**【てんてん寺子屋】**

今年度も2回開催しました。てんてん寺子屋は、子育て中の親10人くらいで、座談会風に自身の子育て生活について語りあう時間です。以前はレジュメを用意したり、プロジェクターで映像を見たりすることも多かったのですが、ここ数年は親たちから発せられる話題だけで、あっという間に90分が過ぎてしまいます。母親は前から割にお話がスムーズな方が多かった印象ですが、父親は少し苦手な方かも多かったように感じています。

しかし、近年は変わってきました。父親たちが、細やかに育児生活やパートナーへの思いを語り、夫婦互いのキャリアを大事にしながら子どもにとってより良い生活とは…と真剣に、自分事として悩み考える方が増えているように思います。「育児をしない男を、父とは呼ばない」という、1999年の厚生省(当時)のキャッチコピーは、すでに古臭くなっていると感じます。



**【子どもの権利】**

数年前から、「北海道こども施策審議会」の会長を拝命しています。北海道の子ども・子育てに関わる施策に対して審議し、提言する立場にあります。2025年4月には、「北海道こども基本条例」を施行し、5年間の「北海道こども計画」も策定しました。これらの軸となっているのが、「子どもの権利」という考え方です。

子どもの権利には、さまざまな内容がありますが、北海道庁で作成したハンドブックでは、『こどもの権利』とは、こどもが生まれた時から持っている権利(人権)のことです。(人権とは)みんなが生まれながらにもっている、人としての尊厳や価値が守られ、健康で幸せに生きるために認められている、していいことやしてもらえることだよ」と説明されています。

北海道の子どもたちに、「君たちは権利の主体なんだよ」「大人に対して、子どもが思っていることを言える社会にしていきたいんだよ」というメッセージを普及していきます。そのためには、大人たちの意識改革、行動改革も必要です。子どもの表情や仕草、声、言葉に耳を傾ける身近な大人が必要です。何でも子どもの言いなりになるのが子どもの権利の保障ではありません。子どもの声を聴き、それにひとりの人として応答する姿勢が大切だと思うのです。



**【釣育(ちょういく)のススメ】**

私は3歳から釣りをしています。東京に住んでいた時、父が休日に多摩川に連れて行ってきて、小さな川魚を釣りました。その後、小学校中学年頃からは、毎週末子どもだけで電車バスを乗り継いで釣りに行きました。学校の授業中も、頭の中では魚が跳ね、川や海の風景が広がっていました。5年生の時、家庭科で使う裁縫箱の糸に、ホチキスの針を曲げてつくった釣り針をつけ、捕まえたミミズを餌に、校庭の池の主の大鯉を釣り上げました。大興奮でした。すぐに校長先生に呼び出されて叱られましたが、そんなことは織り込み済みなのです。それでもやりたかったのです。

中国に、「一生幸せになりたかったら釣りを覚えなさい」という名句があります。私の人生は、間違いなく釣りによって幸福になり、自己肯定感の源になっています。この春、ご家族で釣りでもいかがでしょうか？





## 2026年2歳児の森のようちえん「トコトコくらぶ」17期 いよいよ始動♪

2歳児の森のようちえん「トコトコくらぶ」は、円山原生林の四季折々の自然とのふれあいや集団生活を通して個々の子どものこころとからだの発達を促すことを目的に、満2才児を対象に週1回2-3時間、年間40回、保護者と離れて保育者や友だちと一緒に森を探索する活動です。子育て応援かざぐるまの自主事業として2010年度から活動を開始し、「トコトコくらぶ」08はのべ約530人になりました。



「トコトコくらぶ」の活動は、四季折々の円山の自然に親しみながら、これからの長い人生を生き抜くためのしっかりした体幹と自分のやりたいことを全うできるしなやかなからだを育て、自然を愛する心、自己肯定感や他者への信頼感、感情を調整する力、粘り強くやり抜く力などの生きる力(=非認知的能力)を育むことにもつながっていると実感します。17期は火曜日と水曜日のみ行うこととなり、3/16現在、火曜日3人、水曜日2人の欠員があります。詳しくは下記QRコードからHPでご確認ください。興味をお持ちの方はご連絡をお待ちしています！

**【活動】** 週1回年間40回 4月10-12時/5月連休明け~10月末10-13時/11~3月10-12時

**【対象】** 2023年4月2日~2024年4月1日に生まれた子ども12人 × 火・水曜日2クラス

**【場所】** 円山原生林・円山動物園 \*「森の入口」集合解散

**【保育者】** かざぐるまスタッフ(保育士等有資格者) 子ども3人に対して保育者1人

**【保育内容】** 季節や天候に合わせて円山原生林を散策~自分の足で歩く、走る、またぐ、くぐる、転がる  
両手を付き身体を支えてよじ上る、下る、寝転ぶ、両足飛び、滑る、掘る、植物・虫・泥・雨・雪と親しむ等

**【1日の流れ】** 親子で現地集合→朝の会(わらべうた・挨拶・出席確認・絵本)→保護者退場→森の散策→  
[5-10月午後保育:手洗い→森でおにぎり・絵本]→折返し→帰りの会(報告・挨拶)→解散

**【問合せ先】** kazaguruma@oasis.ocn.ne.jp



## かざぐるまスタッフ募集！ かざぐるまの新たな歴史を一緒に作りましょう

「子育て応援かざぐるま」は、1986年に任意団体として設立した後に2005年にNPO法人化し、「次世代を担う子どもたちの健やかな成長を育む全ての人々が必要とする情報やサービスの提供、子育て支援のネットワーク推進に関わる事業を行い、全ての子どもが安心して心豊かに育つことが保障される地域社会の実現に寄与する」ことを目的に活動しています。当初は訪問保育を中心に活動していましたが、2009年に念願だった「子育て拠点てんてん」を開設し、週5回1日5時間の子育てひろばを中心に、自主事業としててんてんでの「預かり保育」、2歳児の森のようちえん「トコトコくらぶ」、依頼された家庭に出向いて行う「産前産後サポート」や「訪問保育」、イベント時の「グループ保育」、札幌大谷大学子育て支援センター「んぐまーま」の運営協力、支援者講座等の企画運営や講師派遣など、活動は多岐に渡っています。



これからも「かざぐるま」が円山の地でくるくと回っていくために、同じ志を持つ新しい仲間を募集します。NPO(特定非営利活動)＝営利目的ではなく、地域の課題解決に向けて非営利で活動しているので、最低賃金と交通費実費は保証しますが、単なるパートの仕事というより、子育ての現状をふまえ、かざぐるまの理念に賛同して活動に携わりたいと思う方に入会していただけたら幸いです。親子への温かな眼差しと子育て支援への情熱は必須です。できれば保育士などの子どもに関連する資格を有し、保育や子育て支援について学ぶ意欲があり、フットワーク軽く臨機応変に対応できる方を希望します。入会后、活動に携わるにあたり、先輩スタッフのサポートの下、全活動に15回の研修に入ってください(有償)。PC操作が得意な事務会計の経験者も併せて募集します。どうぞあなたのお力をお貸しください！

興味がお有りの方は、代表山田までご連絡ください。 **kazaguruma@oasis.ocn.ne.jp 090-3117-2294**

## あなたの子育てや子育て支援の拠り所として『子育て応援ブック』をご活用ください♪



「赤ちゃんふれあい講座」や「てんてん寺子屋学習会」、「トコトコくらぶ」入会時に購入していただいている『子育て応援ブック』。発達心理学者の川田先生とリハビリテーション学会認定医の加藤小児科医による「子どものこころとからだの育ちの見方&かかわり方」、それらを踏まえての「子どもとの暮らし」を素敵なイラスト入りでわかりやすく掲載しています。購入時だけでなく、子どもの成長の節目で迷ったり、悩んだ時になどに時々読み返していただくと、たくさんのヒントが得られるものと思います。道内各地の市町村では、後期妊婦面談や新生児訪問時に配布されています。どうぞご活用ください♪ 【頒布価格】1冊 550 円。ただし、てんてん手渡し 500 円

////////////////////////////////////

## 2026 年 6 月、かざぐるまは「設立 40 周年」を迎えます♪



かざぐるまの前身の任意団体は 1986 年 6 月に産声を上げたので、今年の 6 月には団体設立から 40 周年を迎えます。設立 40 周年を記念して、今年の **10 月 4 日(日)**に北海道大学隣接の FMI 国際拠点(北区北 21 西 11 駐車場無料)にて、かざぐるま設立 40 周年を記念して子育て親子、プレママ・プレパパ、これから親になる人、子どもの傍らにいる専門職およびすべてのおとなに向け、「**幼い人と生きるってこんなにも幸せだ！ さっぼろ編**」というイベントを開催する予定です。内容は 3 部構成で、かざぐるまの様々な活動の元利用者でソプラノ歌手の陣内麻友美さんと3姉妹による「わらべうた&童謡」、山梨県のぐうたら村共同代表で森の案内人で写真家の小西貴士さんによる「スライドショー」、最後に小西さん、北海道大学子ども発達臨床研究センター教授でかざぐるま理事の川田学さん、代表の山田の 3 者による「トークショー」を考えています。詳細が確定したら改めてお知らせしますので、予定しておいてくださいね。どうぞ楽しみに♪

////////////////////////////////////

## かざぐるま×企業との協働



### ●MV マルヤマクラス「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」【中央区南 1 西 27】

てんてん近くの MV マルヤマクラス店 1 階で、毎月 11 日に黄色いレシート投函箱が設置されています。毎月 11 日の買物の際に、「子育て応援かざぐるま 子育て拠点てんてん」と記載された投函箱に黄色いレシートを投函していただければ、1 年分のレシート総額の 1%相当の金額のイオンギフトカードがてんてんへ贈呈され、衛生用品などの購入に充てさせていただきます。来る 4 月 21 日には、2025 年 3 月～2026 年 2 月までの 1 年分として 94,000 円のギフトカードをいただく予定です。マルヤマクラスさん、みなさん、いつもありがとうございます。今後ともよろしく願います♪

### ●絵本とおもちゃの専門店ろばのこ「ろばのこコラボレーションカード」【中央区大通西17庭ビル2F】

てんてんのこだわりの絵本とおもちゃは、ほとんどが「ろばのこ」で購入したものです。てんてん開設時より「ろばのこ」のご厚意により、「コラボレーションカード」を持参した方が購入した金額の 0.5%を 1 年分まとめてかざぐるまに寄附していただいております。それを利用しててんてんの新しい絵本やおもちゃを充実させていただいております。「コラボレーションカード」は、利用会員入会時やてんてんひろばの初回利用の際にお渡ししていますが、それ以外の時でも「ろばのこ」に行く際には、スタッフにお声掛けいただければお渡しできます。よい絵本とおもちゃは子どものこころを育みますよね。ろばのこさん、みなさん、いつもありがとうございます。今後ともよろしく願います♪